

## 株式会社 松屋 2021年4月上報告

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	575.3	742.7
② 銀座店	573.2	912.5
③ 浅草店	600.4	583.2

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
銀座本店	-91.9	-35.8	-38.5	-35.6	-36.6	-12.6	-26.3	-26.7	-43.8	-13.5	44.4	575.3
松屋銀座	-91.3	-37.2	-40.0	-36.7	-37.9	-13.2	-28.6	-27.8	-45.7	-14.3	43.4	573.2
松屋浅草	-99.7	-18.3	-17.3	-18.9	-13.0	-3.7	2.8	-12.2	-13.6	-1.9	57.2	600.4

## 3. 店舗別商況

銀座店	4月の銀座店は、3回目の緊急事態宣言により一部臨時休業に入り、月間で6日間の売上が損失(それが全体に与えた影響は約6%)、売上の比較が可能な前々年と比べると約4割減となりました(前年は、1回目の緊急事態宣言の発出により、4月第2週から翌月末日までほぼ全館で休業したことにより、売上高前年比としては約575%増となりました)。一方、臨時休業前の4/24(土)までの免税を除いた国内のお客様の売上については、ラグジュアリーブランドの売上高が前年に対して約12倍(前々年比でも約1.5倍)、宝飾の売上高も前年に対して約3.3倍(前々年比でも約1.7倍)となる等、銀座店の品揃えの軸となるカテゴリーの堅調な売上が全体を牽引しました。また、化粧品も前年に対して約4倍(前々年比も約1割減まで縮小)となる等、一部の商品は月を追う毎に回復の基調にありました。しかしながら、4/25(日)より銀座店・浅草店ともに、生活必需品を扱う一部の売場(食料品、化粧品等)を除き臨時休業に入り、5月以降の営業の見通し、営業再開後の買上動向等については不透明な状況が続くことが予想されます。
-----	--

## 4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	639.6	639.6
婦人服・洋品	899.6	895.9
子供服・洋品	307.6	307.6
呉服寝具他	366.2	373.8
衣料品計	694.2	693.0
身廻り品	1,020.0	1,017.6
雑貨	451.1	377.7
家具	805.1	801.0
家電	6,454.0	8,591.5
家庭用品	965.7	973.4
家庭用品計	925.4	928.7
食料品	482.1	503.8
食堂・喫茶	1,213.4	1,212.8
サービス、その他	265.8	269.2
合計	575.3	573.2

## ※ご参考

\*緊急事態宣言に伴う休業要請を受け、4/25(日)より銀座店・浅草店は生活必需品を扱う一部の売場(食料品、化粧品等)を除き、臨時休業に入りました

\*前年(2020年)は、第1回目の緊急事態宣言の発出により、4月第2週から翌月末日までほぼ全館で休業いたしました(外商等の一部で営業継続)

\*売上高対前々年増減率は、-41.0%となります。

※「2021年5月上報告」は、6/1(火)15時に開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部 コーポレートコミュニケーション課  
 Tel : 03-3248-8311 / Mobile : 070-4547-7555